

# 教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	人工の雲を作ろう ～水の大切さを知ろう～			
月日・時間	2018年9月9日(日) 10:00~12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・1階会議室			
部会・講師名	グリーン部会 柳川三郎	参加者数	20名	
		講師数	6名	
写真				
	砂漠で生きのびるには何が必要か?クイズ	アースボールで海と陸の割合を調べる		
				
	雲ができる物質をボトルの中に入れる	自分の手の中で人工の雲が発生		
成果解説	<ul style="list-style-type: none"> <li>この教室は、空に雲ができる原理を学び、人工の雲を作る実験を体験することを通して自然界の水の循環や役割を学び、水を汚さず、大切に使うことを動機づけることが目的。</li> <li>最近の台風の大型化や線状降水帯で次々と雲が出来て大雨になって被害が大きくなっている原因として地球温暖化の影響で海水温が上がって雲ができやすくなっていることを映像と模型を使って説明しました。</li> <li>雲の発生原理など自然界の水の循環系についてクイズを交えて分かり易く解説しました。</li> <li>水は地球上に生きる動植物や人間にとって不可欠な物質で大変重要なもの、水があれば砂漠で1ヶ月は生きられるなどをクイズで子どもたちに説明しました。</li> <li>ペットボトルの中に「人工の雲を作る」実験は、大変人気のある授業で、自分の手の中に雲ができる瞬間に子どもたちは「オー」「ワー」という歓声が聞かれました。</li> </ul>			